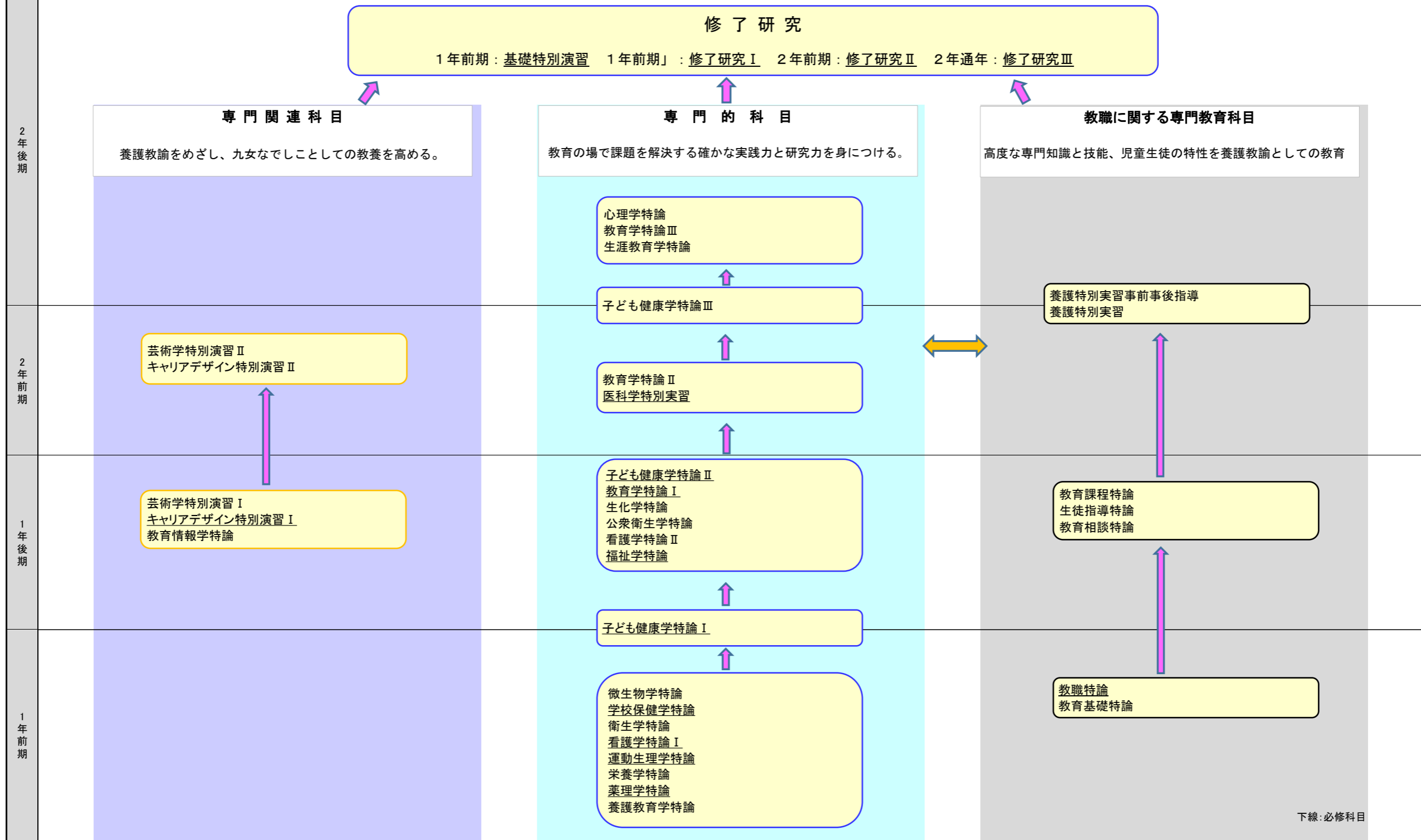


令和6年度入学生 専攻科子ども健康学専攻 カリキュラムフローチャート

修了方針

子ども健康学専攻では、教育の場において求められる知識・技能・態度等をもとに自ら課題を発見し、解決に向けた方策を立案し実行できることを目指す。
この基本理念のもとに、以下の基準を満たした学生に修了証書を授与する。

- 知識・技能**
1. 養護教諭としてふさわしい、高度な専門的知識と技能を身に付け、児童・生徒の特性や教育の本質を、養護教諭としての教育実践に関連付けて理解している。
 2. 児童・生徒、教員、保護者等と意思の疎通、連携、協力ができるコミュニケーション能力、ICT能力を身に付け、体系的、構造的に理解している。
- 汎思考力・判断力・表現力**
1. 専門的知識、技能を十分に活用して、教育の場で課題を解決する確かな実践力と研究力を有している。
 2. 一人一人の特性を理解し尊重しながら、育ちを支え、体と心の健康、安全を守ることができる。
- 主体性・協働性・倫理性**
1. 児童・生徒の立場に立ってその気持ちを受容し、理解し、共感しようとする態度を身に付けている。
 2. 養護教諭の役割と責任を認識し、自ら成長し向上して責任を果たそうとする情熱と意欲を持ち、社会への奉仕の精神、人に対する優しさと思いやりを身に付けている。
 3. 養護教諭として、高い倫理性をもって自己の良心や社会のルールに従い、多様な人々と協力して、地域や社会の発展のために主体的に貢献できる力を身に付けている。



入学者受入れの方針【アドミッション・ポリシー（A P）】

- 子ども健康学専攻は修了方針および教育課程編成・実施の方針（C P）に基づき、次に掲げる入学者を広く受け入れる。
1. 短期大学等で、子どもの心身の健全な成長・発達および子育てに関する基礎的な知識を身につけている。（知識・技能）
 2. 児童・生徒の発達段階をサポートするために必要な論理的思考力および表現力を持つとともに、課題解決力を持っている。併せて、教育・保健学領域に深い関心を持ち、養護教諭として働くことに熱意を持っている。（思考力・判断力・表現力）
 3. 多様な人々と協力して、よりよい社会を実現したいという気持ちを持ち、主体性・協働性を発揮したいという意欲を有する。（主体性・協働性・倫理性）